

2017年6月17日（土）開催！

「折り紙で辿る美術史」セミナー&ワークショップ

この度、「美術検定」実行委員会事務局と絵画教室ルカノーズとの共同企画により、ルカノーズ主宰のアーティスト・三杉レンジ氏を講師に迎え、「折り紙で辿る美術史」セミナー&ワークショップを開催いたします。



三杉氏はピカソ、ポロック、ステラなど主に西洋美術の作品を、1枚の紙（折り紙）で抽出表現し、その形態の変遷を作品化する制作を行っています（※）。

「＜西洋美術史＞は、突然変異の天才たちが作り上げたものというよりは、科学のように基礎となる前段を踏まえての進歩を綴った連載継続中の物語。」

と唱える三杉氏から、アーティストの視点での＜連なる美術史＞についてお話を伺いつつ、実際に手を動かし、美術の進化を折り紙に置き換え辿っていくことで体感的に流れを再考し、さらに未来の美術を予測します。また当日は、美術検定関連書籍の割引販売も実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております！

※三杉氏の美術史の変遷を折り紙で表現する作品については、美術検定ブログ「美術検定ナイトレポート」に掲載されています。→ <http://bijutsukentei.blog40.fc2.com/blog-entry-218.html>

[日時] 2017年6月17日（土）15時～17時30分

「折り紙で辿る美術史セミナー」（約45分）

「折り紙で作る美術史・作品制作ワークショップ」（約90分）

[場所] 美術出版社会議室&ラウンジ（東急東横線「代官山駅」より歩5分）

[講師] 三杉レンジ（絵画教室ルカノーズ主宰）

[定員] 15名

[参加費] 1500円

[申込方法] 「美術検定」実行委員会事務局まで、メールかFAXでお申込み下さい。

メール・info@bijutsukentei.jp FAX・03-5489-1616

【定員に達しましたので、申込終了いたしました】